

令和5年度教育事業
全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」
「オリエンテーション合宿 in 能登チャレンジ」

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」とは

国立青少年教育振興機構が令和2年度に新設した「全国高校生体験活動顕彰制度『地域探究プログラム』」は、高校生の体験活動を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度である。取組みを段階的に分けており、ステップⅠ「地域探究トライアル」では「探究」の学びと実践を、そしてステップⅡ「地域探究アワード」では意欲の高い高校生向けに実践活動の顕彰を行う。

1 趣 旨

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動を通して、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や自身の成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関する社会的な認知を高める。

2 日 程 等

(1) 期 日 令和5年7月15日(土)～7月16日(日) 1泊2日
令和5年7月22日(土) 日帰り

(2) 参加者 石川県立門前高等学校 第1学年 1名
石川県立鶴来高等学校 第3学年 1名
石川県立羽咋高等学校 第1学年 1名
鵬学園高等学校 第2学年 1名
遊学館高等学校 第3学年 1名 第2学年 2名

合計 7名

(3) 講師及び研修内容

① 講 師

[講話「地域活性に関わる実践」]

日蓮宗妙法寺住職 高野 誠鮮 氏

[フィールドワーク①・②]

羽咋市歴史民俗資料館学芸員 中野 知幸 氏

はくい獅子保存会 横山 孝信 氏

[ガイダンス、講義・演習①～④、発表①②]

恩田 雅博 (国立能登青少年交流の家企画指導専門職)

他 (国立能登青少年交流の家職員)



② 研修内容（カリキュラム）

分野	No.	科目名	月/日	時間	探究のプロセス	主な活動内容	活動場所
導入	1	ガイダンス	7/15	10:00-10:30	-	地域探究プログラムの内容・スケジュール等の確認。	交流の家第8研修室
	2	フィールドワーク①-1 「地域の魅力発見」	7/15	11:00-14:00	課題発見	フィールドワークを通して、地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。(神子原米等)	神子原地区
		講話 「地域づくりの実践」				「地域づくりの実践」の講話を聴き、今後の活動に向けて意欲を高める。	
	3	フィールドワーク①-2 「地域の魅力を発見」	7/15	14:30-16:00	課題発見	フィールドワークを通して、地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。(獅子舞)	神子原地区
4	講義・演習① 「地域理解」	7/15	16:30-18:00 19:00-19:30	課題発見	情報マップ作りを通して、FW①の調査内容の全体像を把握する。	交流の家第8研修室	
探究のプロセスの実践	5	講義・演習② 「課題解決の基礎」	7/15	19:30-21:00	課題の設定	FW先の問題点を明らかにし、その解決策や質問を考える。	交流の家第8研修室
	6	フィールドワーク② 「地域課題の探究」	7/16	9:00-11:50	情報の収集	講師との意見交換や別の取組の調査を通して、より有効な解決策を考える。	羽咋市歴史民俗資料館
	7	講義・演習③ 「地域課題の探究」	7/16	13:00-16:00	整理・分析、まとめ	調査内容や問題点の解決策をポスターに整理し、まとめる。	交流の家第8研修室
	8	発表①	7/16	16:00-16:45	表現	作成したポスターを用いて、ポスターセッションを行う。	交流の家第8研修室
地域課題の取組	9	講義・演習④ 「行動計画の基礎」	7/22	9:15-14:00 昼食含む	課題の設定	実践活動での行動計画を作成する。	交流の家第8研修室
	10	発表②	7/22	14:00-15:00	表現	今後の実践活動の行動計画を発表する。	交流の家第8研修室
	11	実践活動のためのガイダンス	7/22	15:00-15:50	-	実践活動上の安全管理や社会のルール・マナーを理解する。	交流の家第8研修室

③ フィールドワーク概要

羽咋市歴史民俗資料館学芸員 中野 知幸 氏

地域の獅子舞文化の現状や課題について、その魅力や情報を知り、自分事と捉えた目線で考え、地域の課題とその改善に向けた取組みを探究する。

3 成果と課題

本事業に参加した7名の生徒から、今回のオリエンテーション合宿での学びについての振り返りをしてもらった。

(1) フィールドワークでの学びについて(生徒の記述より一部抜粋)

- ・調べても出てこないことが、実際にその地域を訪れて、その活動に携わっている方々に話を聞くことで知ることができた。問題を肌で感じることの大切さも感じられた。
- ・自分たちの住んでいない地域とは違った獅子の演目や、その地域は今までどんなことをして活性化してきたのか、何に対しても挑戦することの大切さや大変さを学べた。



【トークセッションの様子】

(2) 生徒のオリエンテーション合宿の学びにおける成果と課題(生徒より聞き取り)

① 成果

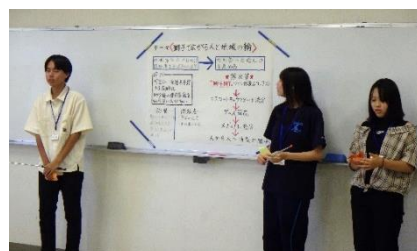
- ・他校の同士でグループを作り、課題や取組について議論を交わしたことで、新しい発見等もあり、お互いに刺激を受けることができた。
- ・話す時に相手に伝わる話し方が大切であるため、納得させられるプレゼンテーションのコツを学ぶことができた。
- ・各々が出した考えをまとめて、1つのものにするのはとても難しく、根本的な事項を理解していないと話がまとまらないことがあることがわかった。



【情報マップ作り】

② 課題

- ・人の考えを理解するまでに時間がかかり、まとめることが苦手であることを再認識した。
- ・発表するスキルが低いことを自覚した。また、言語化することも苦手なので今後の課題である。
- ・積極的に話し合いに参加することができなかった。



【発表・質疑応答】

(3) 運営面における成果と課題

① 成果

- ・募集に当たって、石川県内の複数の学校を訪問した。結果的には5つの学校から参加者が募り、OR合宿を実施することができた。また、当日は、2校の先生が生徒とともにOR合宿に参加し、本事業についての理解を深めていただくことができた。
- ・事業全体に対する満足度は100%であり、課題発見力・解決力・発表力の向上に繋がったという声が多く聞かれた。
- ・参加者の意識が高く、課題発見や解決に向けて多様な意見があり、考えに広がりをもつことができた。

② 課題

- ・テーマが歴史(伝統文化)に関する内容であり、参加者にとっては身近なものではなく、自分事として捉えることが難しかった。
- ・時間の設定が不十分であった。意見交流が活発で多様な考えが出たこともあり、自分の考えをまとめ、発表する時間が足りなかった。特に、発表に向けて十分に準備(練習)する時間が少なかった。